

記者発表資料
平成30年8月21日

担 当	養老鉄道活性化協議会（事務局：大垣市生活安全課） 課長：馬淵 主幹：中島 養老線管理機構 課長：中川 主幹：辻
連絡先	養老鉄道活性化協議会 0584-81-4111内線427 養老線管理機構 0584-81-4111内線430

養老線の車両更新について

- 1 目 的 現在、養老線の車両は昭和38年～45年製であり、老朽化が進んでいるため、車両更新により、塗装費や動力費等の削減、サービス向上を図ります。
- 2 事業主体 一般社団法人 養老線管理機構
- 3 事業期間 平成30年度～31年度
- 4 事業費 6.1億円（平成30年度 3.3億円、平成31年度 2.8億円）
※国・岐阜県・三重県・沿線市町の補助金及び養老線支援基金等を活用。
※平成29年11月現在の事業費であり、詳細は現在、調整中。
- 5 廃車車両
 - (1) 経過年数 導入から47年～51年経過（昭和41年～45年製）
 - (2) 編成・両数 15両（2両編成×3本、3両編成×3本）
- 6 導入車両（購入する東急の中古車両）
 - (1) 購入先 東急テクノシステム株式会社（東急グループ）
 - (2) 購入車種 東急7700系（昭和38年～41年製。ただし、昭和62年～平成3年に車体以外の台車、電機品、内装などを総取替済みであり、今後30年程度利用する）
 - (3) 購入両数

改造年度	編成数	車両数	備考
平成30年度	3両編成×2本	6両	平成30年度に15両すべてを機構が購入する
平成31年度	3両編成×1本、2両編成×3本	9両	
合計	3両編成×3本、2両編成×3本	15両	

※東急電鉄池上線で運行されている車両を購入するもの。

※養老線の全車両数31両（2両編成×5本、3両編成×7本）の約半数を更新する。なお、全車両数及び編成数に変更無し。

7 主な日程等

とき	内容
平成30年 9月～12月	15両の納入（陸送） ※陸送日程等の詳細は、現在、調整中 ・平成30年度に改造工事を行う車両（6両）は近畿日本鉄道株式会社の塩浜検修車庫（四日市市）に直接輸送 ・平成31年度に改造工事を行う車両（9両）は西大垣駅に留置
平成30年9月～ 平成31年2月	改造工事の実施（3両編成×2本＝6両） 改造工事終了後は、運転士の研修等を実施
平成31年 2月～ 3月	平成30年度改造の6両の運行開始 ※運行開始の記念事業や、廃車車両のお別れイベント等を検討中

8 改造等

- (1) 外 観 4種類（赤帯、赤歌舞伎、緑帯、緑歌舞伎）
- (2) 内 装 ひょうたん柄をあしらったシートを製作（一般席：緑、優先席：青）
- (3) 設 備
 - ① 各設備を養老線の仕様に合わせるための変更
 - ② 先頭車両（両側）に運賃箱、運賃表示板（デジタル表示）を設置
 - ③ 全編成に車椅子スペースを設置（各編成1両）
 - ④ 一部の3両編成の車両では、中間車に8席のクロスシートを設置

9 導入効果等

- (1) ステンレス製のため、腐食がなく塗装費等の維持管理費の削減ができる。
- (2) 空気ばね台車のため金属ばね台車より乗り心地が向上する。
- (3) VVVFインバータ制御のためメンテナンス労力の削減及び動力費の削減ができる。
- (4) 回生ブレーキ採用のため動力費の削減ができる。
- (5) クロスシート及び車椅子スペースを設置するため、サービス向上となる。
- (6) 新たに運賃表示板を設置するため、利便性向上となる。

10 その他

運行開始の記念事業等を実施予定としています。

記念事業の詳細や、車両更新に関する情報等については、詳細が決まり次第、随時、お知らせします。

導入車両イメージ図（案）

1 緑 帯（平成31年度 2両編成×2本）



2 緑歌舞伎（平成30年度 3両編成×1本）



3 赤 帯（平成30年度 3両編成×1本、31年度 2両編成×1本）



4 赤歌舞伎（平成31年度 3両編成×1本）



5 内 装



※3両編成の車両では、中間車に8席のクロスシートを設置



※ひょうたん柄をあしらったシートを製作（一般席：緑、優先席：青）

1 現在の養老線車両（マルーン、ラビット、センロク）



2 改造前の東急車両

